



氷川町長
藤本 一臣

安心して暮らせ、幸せを 実感できる氷川町の実現に向けて

あけましておめでとうございま
す。皆さまには、ご家族おそろいで
希望に満ちた新年をお迎えのこと
と心からお喜び申し上げます。

また、日ごろより町政運営に対
しましては、温かいご理解とご協
力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと三月十一
日に発生した東日本大震災をはじめ、台風や大雨による未曾有の自
然災害が発生し、多くの尊い命と

財産が奪われました。人と人、地
域と地域が共に支え合うことの大切
さと、強い絆の尊さを感じると
ともに、安全で安心して暮らせる
社会を構築することの必要性を改
めて認識したところであります。

また、長引く経済不況による雇
用環境の回復の兆しは見え、国
政では、従来の「補助金」から「一
括交付金」への制度改革、社会保
障と税の一体改革に伴う消費税増
税やTPP参加への意向表明など、
先行き不透明感が漂い、本町

を取り巻く社会経済情勢は益々厳
しさを増し、極めて重要な時期を
迎えております。

本年も地方自治の原理原則を重
んじ、町民の皆さまとの融和と連
携による協働型社会の構築を図
り、先人から受け継いだ産業・伝
統文化・風土を守りはぐくむと
ともに、新たな視点と発想による時
流をとらえた町政を粛々と展開し
てまいりたいと考えております。

その基本にありますのは、平成
二十年度に策定した第一次氷川町
総合振興計画であります。この計
画は、町民の皆さまの英知と総意
を結集し、将来の氷川町の展望を
見極め、町政運営の方針を示した
ものであります。本年は十年計
画の中間点を迎えますので、前期
五年間の計画の進捗状況を検証す
るとともに、後期計画の必要な見
直しなどを実施したいと考えてい
ます。

氷川町が誕生して七年目を迎え
ますが、合併前からの課題、合併
時における協定事項や新たな懸案
事項など、解決すべき課題が山積
しておりますので、それらの課題

解決と実現に向けて、粘り強くひ
たむきに取り組んでまいります。

私も町長に就任以来二年余りを
経過し、折り返しの年を迎えます
ので、町民の皆さまのご期待に沿
うよう初心にたち返り、強い信念
と情熱を傾けながら、職員一丸と
なって知恵を絞り、汗をかき「安
心して暮らせ、幸せを実感できる
氷川町」の実現に向け、全身全霊
を尽くす所存でございます。

これからも町議会をはじめ町民
の皆さまのご理解とご協力をお願
い申し上げますとともに、「竜の雲
を得るが如く」新しい年が皆さま
にとりましても氷川町にとりまし
ても最良の年でありますよう心か
らご祈念申し上げます、年頭のごあい
さつといたします。



氷川町議会議長
笠原 良一

開かれた議会を目指して

あけましておめでとうございま
す。

平成24年の新春を迎え、皆さま
にはご家族おそろいで、さすが
しいお正月をお迎えになられたも
のご挨拶し、謹んでお喜び申し
上げます。

また、日ごろから議会に対する
暖かいご理解とご協力、そして激
励を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年、氷川町誕生から七年目
の年を迎えます。新町としての礎
もほぼ固まり、これからは大きな

施策がどんどん進んでいく、そう
いう年になりました。

昨年の国内を振り返りますと、
三月に東日本大震災と、その強い
揺れや津波被害の影響による原子
力事故が発生しました。また、七
月から九月にかけては、台風によ
る記録的な大雨や土砂災害など、
自然の猛威が国内を襲いました。

一方、明るい話題では、一昨年
の暮れから、児童養護施設に匿名
で寄付を行う「タイガーマスク運
動」が全国に広がりました。また、

三月には九州新幹線が全線開業
し、本町も熊本駅構内に「氷川の
しずく」を出店し、本町の魅力を
発信する情報基地が誕生いたしま
した。

本町には、幸いにも自然災害な
どの被害もなく、平穏とした一年
であったかと思えます。しかしな
がら、長引く経済不況は、本町の
基幹産業である農業や商工業の活
力を奪い、さらに若者の雇用不安
定と厳しい社会経済情勢にありま
す。

このような中で、住民と行政が
役割分担して、協働で氷川町を
つくっていかねばなりません。
優れた自然環境を持つ氷川町
が、人と自然がうまく調和し、こ
こに生まれ、ここで育ち、ここに
住んでよかつたと思える町を築い
ていかななくてはなりません。その
ためには、行政と住民の間に立つ
議会が、地方公共団体の意思決定
機関として、議会の機能を駆使し
て、町が行う事務を広く町民の皆
さまに明らかにしなければなりません。

しかし、現在の地方議会はさま

ざまな慣習や慣例、制度などに
より硬直化しており、議会の活性化
への取り組みが重要課題でありま
す。

町民の目線に立ち、真に開かれ
た議会を目指して、議員一人ひと
りが研鑽し、そして議会としての
機能を発揮できるよう努め、皆さ
ま方のご期待に応えるよう決意を
新たにしております。

幼児期を過ぎ、いよいよ小学校
へ進む時期となった氷川町が、生
き生きと躍動感に満ちた一年とな
りますように、共に歩んで行きたく
いと存じます。

どうか、本年も相変わらぬご支
援とご協力を賜りますようお願い
いたします。皆さまのご多幸とご活躍を
祈念申し上げます、新年のごあいさ
つといたします。

